

0歳児～5歳児

ビジュアル化カリキュラム

0歳児

発達の特徴

- ・首がすわる、寝返り、腹ばい、座る、はう、立つなど、全身の動きや、目の前のものをつかもうとしたり、両手に持ってたたき合わせたりなど手指の発達が活発になる。
- ・笑う・泣くという表情の変化や喃語（なんご）等で自分の欲求を相手に伝え、特定の大人にตอบสนองしてもらうことで情緒的な絆を形成する。
- ・特定の大人との応答的なかかわりにより、愛着関係ができ、人見知りが始まる。

養護

保育の基盤としての「養護」	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を十分に満たしながら、生活のリズムを形成していけるようにする。 ・保育者の愛情豊かな受容により気持ちよく過ごせるようにする。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人とのかかわりやスキンシップを十分にとることを通して、一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。 ・静かで安心できる環境を作り、十分に休息できるようにする。

生命の保持



先生、横にいてね。

先生が、ずっと見ているよ。

十分な休息をとり、生活のリズムを形成する

生命の保持



いっぱい抱っこして！

保育者の愛情に包まれ、心の安定を保ち、気持ちよく過ごす

情緒の安定



そうね、かわいいね。

先生、クマさんかわいいね。

信頼できる保育者に、自分の気持ちを安心して表すことができる

保育者の役割

- ・子ども一人一人が健康で安全に過ごすことにより、生理的欲求が充分満たされるようにする。
- ・適切な援助や応答的なかかわりを通して健康で安全に過ごせるようにする。
- ・子ども一人一人が安定感を持って過ごす中で、自分の気持ちを安心して表せるようにする。

0歳児 健康

健康	心情	・安全で清潔な環境の中で、生理的欲求を満たしてもらいながら健康で気持ちよく過ごすことや、清潔になることの喜びや心地よさを感じる。
	意欲	・つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぼうとしたり、興味のある所へ行こうとしたりするなど、自立の意欲が芽生える。 ・いろいろな食べ物に興味を持って食べようとする。
	態度	・個人差に応じて、簡単な生活リズムを身に付け、心地よく過ごす。 ・個人差に応じて、基礎的な身体的活動（寝返り、お座り、はいはい、立つ、伝い歩き、歩くなど）十分に楽しんで行う。

心 情

意 欲

身の回りを清潔にしてもらい、気持ちよく過ごすことの心地よさを感じる

いろいろな遊びの中で、意欲的に手や指、体を十分に動かす

態 度

保育者に見守られながら一人で伸び伸びと、楽しんで行動する

保育者の役割

- ・生理的欲求を満たし、清潔になることの喜びや心地よさを感じられるようにし、健康な心と体を育てる。
- ・子どもがいろいろな遊びの中で、手や指を使って遊んだり、興味のある所へ行ったりするなど、十分に体を動かせるようにする。
- ・明るく伸び伸びと行動できるようにし、充実感を味わいながら、楽しんで取り組めるようにする。

0歳児

人間関係

人間関係	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育者とのスキンシップなどを通して十分にかかわり、甘える、すねるなどの自分の思いを受け止めてもらい、安心感や楽しさ、満足感を味わう。 ・安心できる保育者に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育者と共に過ごすことを喜び、生活や遊びの中で身近な人を求めようとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・喜んで保育者にかかわり、生活や遊びの中での保育者のすることに興味を持ったり、楽しみながら模倣したり、同じことをする。 ・安心できる保育者とのかかわりを通して自分の思いを受け止めてもらう中で、特定の保育者に安心感や信頼感を持つ。

心情

先生、絵本を読んで。



この絵本をいっしょに見ようね。

安心できる保育者と一緒に過ごすことを喜び、楽しむ

意欲

よいしょ、よいしょ。



しっかり手をつけてね。

身近な保育者と共に、意欲的に遊び、成し遂げようとする

態度

僕のもいい音がするよ。

いい音がするね。



保育者と積極的にかかわる喜びを知る

保育者の役割

- ・保育者と親しみ、かかわりを深め、共に過ごすことの喜びを味わえるようにする。
- ・自分の力で行動することの充実感が味わえるようにしたり、物事をやり遂げようとしたりする意欲を育てる。
- ・子どもと積極的にかかわりながら、喜びや悲しみを共感し合い、愛情や信頼感が持てるようにする。

0歳児 環境

環 境	心情	・安心できる環境のもと、絵本や玩具、身近な生活用具が用意された中で、心地よさを感じ、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。
	意欲	・身近なものや自然物に興味や関心を持ち、喜んで見たり、触れたり、聞いたりなど五感を通して自らかかわろうとする。
	態度	・いろいろなものに興味を持ち、触ったり、つかんだり、つまんだりするなど五感を使って楽しんで遊ぶ中で、自ら身近な環境に働きかけ、感覚を豊かにする。

心 情



これはなんだろう？

生活の中で、いろいろなものに触れ、興味を持つ

意 欲



ちょっとさわってみよう。

自然物などの身近な事象に興味を持ち、触れて遊ぶ

態 度



つまんでみよう。
あれ？取れないよ。

身近なものや遊具に興味を持ち、考えたり、試したりして遊ぶ

保育者の役割

- ・身の回りの遊具に親しめるようにし、その性質や仕組みに興味や関心が持てるようにする。
- ・子どもが身近な自然物などの環境に自らかかわり、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付けるように言葉をかけたり、一緒に見たり触れたりする。
- ・周囲のいろいろなものや遊具に好奇心や探求心を持ってかかわれるように働きかける。

0歳児 言葉

言葉	心情	・安心できる保育者とのかかわりの中で、あやされると声を出して喜んだり喃語（なんご）や片言を優しく受け止めてもらったり、発語や保育者とのやりとりを楽しむ。
	意欲	・安心できる保育者から優しく語りかけられたり、発声や喃語（なんご）に応答されたりすることを喜び、嬉しい気持ちを自らの発語で伝えようとする。
	態度	・発声や喃語（なんご）・片言・指さしなどを使って、自分の気持ちややりたいことを表す。 ・名前を呼ばれると反応したり、語りかけられることによって、声を出して応答したりしようとする。

心情



ほら、おさかな半分になったよ!!

先生、いっしょに遊ぼう!

楽しそう。私もやってみたいな。

わあ、すごい! 楽しいな〜。

自分の感情を喃語（なんご）や発語で表し、保育者とのやりとりを楽しむ

意欲



ほら見て! こんなに高くなったよ。

遊びの中での楽しさや、嬉しい気持ちを喃語（なんご）や発語で伝えようとする

態度



私もあっちに行きたいな。

あれ? 先生があっちにいる!

自分なりの表現方法を用いて気持ちを表し、伝えようとする

保育者の役割

- ・子どもに伝わるように目を見ながら語りかけ、やりとりをする中で、子どもの喃語（なんご）や発語を優しく受け止める。
- ・遊ぼうとする意欲を大切に、子どもが言おうとしていることを読みとりながら、表情豊かにかかわり、さらなる発語につなげる。
- ・子どもの意思表示を大切に、言葉で応答しながら気持ちに共感していく。

0歳児 表現

表現	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊びなどを通して、音やリズムの楽しさを味わう。 ・保育者と一緒にきれいな色彩のものや身近なものの絵本を見ることを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで歌やリズムに合わせて手や足や体を動かそうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・応答的なかかわりの中で、泣く、笑うなどの感情表現を十分にさせる。

心情



ネコさんだよ。
ニャーと鳴い
ているね。

先生、これなに？

保育者と一緒に、絵本を見る
ことを楽しむ

意欲



シャカシャカ
音がするよ。

音楽の鳴るものを持って
振ったり、音を鳴らすこと
を楽しむ

態度



うわあー、こんな
もようができた！

いろいろな素材に親しんで遊
ぶ中で、いろいろな感情を表現する

保育者の役割

- ・子どもが絵本など身近な環境と十分にかかわる中で、美しいもの、心を動かすものに出会うことにより、豊かな感性が養われるようにする。
- ・子どもが音楽に親しみ、歌や曲のリズムにのり、楽しさを味わえるようにする。
- ・遊具や用具を整え、表現する過程を大切にして、自己表現を楽しめるようにする。

1歳児

発達の特徴

- ・ 伝い歩きや一人歩きができるようになると、行動範囲が広がり、探索活動が活発になる。
- ・ 手指や指先を使いながらつまんだり絵本をめくったり、なぐり描きを楽しむようになる。
- ・ 大人の言うことが理解できるようになり、身振りや指さしを使いながら、一語文や二語文で自分の思いを伝えようとするなど伝えたい欲求が高まる。
- ・ 象徴機能が発達し、目の前にはない場面や事物を頭の中でイメージしながら遊ぶことができるようになる。友達や周囲の人への興味や関心が出てくるので、他の子どものしぐさを真似したり、子ども同士同じことをして遊んだり、追いかけてっこしたりする姿も見られるようになる。

養護

保育の基盤としての「養護」	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たすとともに、生活のリズムを大切にしながら快適に過ごせるようにする。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより情緒の安定を図り、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・ 子ども心の变化を感じ抱きしめたり言葉をかけたりして、安心感を得られるようにする。

生命の保持



自分で食べられるよ。

ごはん、おいしいよ。

自分で食べる喜びを味わいながら生理的欲求を満たす

情緒の安定



お外が見えるの、うれしいな。

お外でみんな遊んでいるね。

子どもの気持ちを受容し、情緒の安定を図る

情緒の安定



おててが痛いよ～。

見せて。おてて痛かったね。

受容や共感の言葉をかけて安心感を得られるようにする

保育者の役割

- ・ ゆったりとした雰囲気の中で基本的な生活習慣が身につくようにし、生活や遊びの場を清潔で安全に整える。
- ・ 子ども思いを受け止めながら情緒の安定を図るとともに、信頼関係を築いていく。
- ・ 子ども不安や欲求に気づき、声をかけたり抱きしめたりしながら安心できるようにする。

1歳児 健康

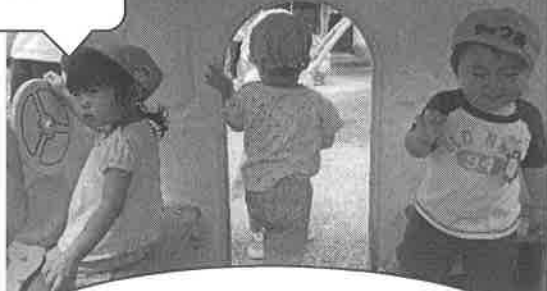
健康	心情	<ul style="list-style-type: none"> 安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。 自分で食べようとする気持ちを持って、食事や間食を取ることを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> いじる、たたく、つまむ、転がすなど手や指を使った遊びを繰り返し楽しむようになる。 安心できる保育者との関係のもとで、食事、排泄などの活動を通して、自分でしたいという気持ちが芽生える。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> 個人差に応じて、身体的な運動（登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなど）を取り入れた遊びを楽しんで行う。

心情

バスが出発
しますよ～！

あっちに行っ
て遊ぼうっと。

僕、乗り
ま～す。



保育者に見守られながら、
自分の好きな遊びを楽しむ

意欲

どんどん長くつ
ながるよ。

がんばって
つなげよう！



指先を使った遊びで、つま
んだりつなげたりすることを楽し
もうとする

態度

よ～し、滑る
よ～！

僕も早く滑り
たいな。

私も登ろ
う！



登る、滑るなど全身を使っ
た遊びを楽しんで行う

保育者の役割

- ・子どもが自分でしたい思いを大切にしながら、一人一人が遊びを楽しめるようにする。
- ・手や指を使った遊びが楽しめるような玩具を用意し、もっとしたいなという意欲につながるような言葉がけをする。
- ・手や指、全身を使った運動を経験できるように遊具を用意したり遊びに誘う。

1歳児

人間関係

人間関係	心情	・安心できる保育者に見守られ、外遊びや、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。
	意欲	・安心できる保育者の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち同じようなことをして喜んでかかわろうとする。 ・園生活の中の簡単なルールや約束事があることを知り、守ろうとする。
	態度	・信頼できる保育者に、安心して自らかかわるとともに、視界の範囲内で自分の力で遊んだり、行動したりする。

心情

このブロックを積もう。



玩具を使って、同じ場所でそれぞれが一人遊びを十分に楽しむ

私は並べてみよう。

僕は何を作ろうかな。

意欲

ここ道みたいだよ。



同じ遊具や玩具を使って、友達とかかわろうとする

本当だ！

態度

いいのができたね。ブレスレットかな？



保育者に作ったものを見せて、認めてもらい、次への行動につなげる

先生、こんなの作ったよ。みて～！

保育者の役割

- ・子どもの意欲を大切にしながら、遊びにかかわったり見守ったりして、信頼関係を築いていく。
- ・子どもが遊んでいるのを見守り、友達とかかわる際や遊びの中にはルールがあることを知らせる。
- ・子どもの動作や言葉に耳を傾け、思いをくみとり、子どもを認めて自信が持てるような声かけをする。

1歳児 環境

環 境	心情	・身の回りのいろいろなものに好奇心や興味を持って、自由にいじったり、触ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
	意欲	・身の回りのいろいろなものに関心を持ち、開けたり閉めたり、押したり引いたり、投げたり追いかけてたりして試してみようとする。 ・保育者を仲立ちとして、身近な自然や環境を生活や遊びに取り入れて遊ぼうとする。
	態度	・身の回りにある好きな玩具や遊具、自然物に自分からかかわり、喜んで十分に遊ぶ。

心 情

何があるのかな？



自然物に興味を持って、摘んだり触ったりしながら楽しむ

ヨイショ！なかなかぬけないなあ。

これは、何かかな？

意 欲

僕も投げようっと。

ボールを投げるの楽しいな！

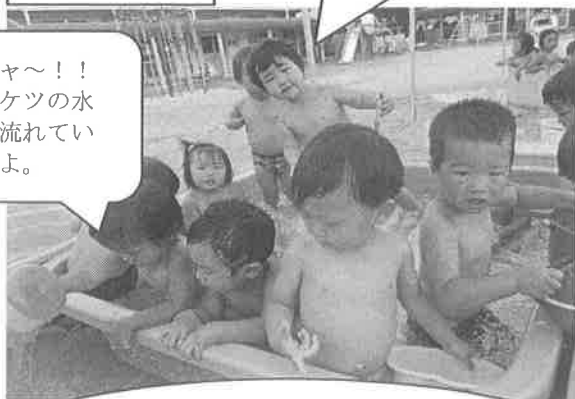


繰り返し玩具を使い、投げたり追いかけてたりして遊ぶ

あっちに投げようかな？

態 度

ジャ～！！バケツの水が流れていくよ。



自然物に自分から喜んでかかわり、十分に遊ぶ

冷たい水が気持ちいいな～。

保育者の役割

- ・室内外で、子どもが身近な自然に触れ合う機会も多くなるため、安全な環境を準備する。
- ・子どもが興味のあるもので遊んでいるのを見守ったり、一緒に遊んだりして、より楽しめるようにする。
- ・子どもが自分で体験していく中での発見や驚きに共感し、より興味を持てるような声かけをする。

1歳児 言葉

言葉	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の話しかけや発語に応答してもらうことを喜んだり、自分から片言で話す楽しさを味わう。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活や遊びの中で簡単な言葉を使おうとしたり、大人の言うことを理解しようとする。 ・ 自分のしたいこと、してほしいことや、「いや」「だめ」などの自分の気持ちを、指さしと片言などを使って伝えようとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者や友達と喜んで簡単な言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 ・ 興味ある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しをしたり模倣をしたりして遊ぶ。

心情

アリさんがいた！



自分から見えたものや感じたことを、片言で話すことを楽しむ

意欲

これ、かして。

いいよ。



自分の気持ちを指さしと片言などを使って、伝えようとする

態度

これは何を作ったの？

ウマさん作ったよ。



保育者と言葉のやりとりをしながら遊び、少しずつ言葉を身に付けていく

保育者の役割

- ・ 子どもの言った言葉に対して「そうだね、〇〇だね」など子どもに応答して言葉の獲得を促していく。
- ・ 子どもが友達と遊ぶ中でうまく自分の思いを伝えることができない時には、保育者が仲介者となり、伝え合えるようにする。
- ・ いろいろな場面で、発語を促すかわりをする。

1歳児 表現

表現	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、玩具などに興味を持って遊び、見立て遊び、つもり遊びを楽しむ。 ・手遊びや身近な音楽に親しみ、それに合わせて手や体を動かしながら表現して楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることを自分なりに表現しようとしたり、歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて踊ろうとしたりする。 ・保育者と一緒にいろいろなものや素材に触れながら、それらに楽しんでかかわろうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かしたりして喜んで遊ぶ。

心情



カタツムリ、
できた！

で～んでんむ～し
むしカタツムリ♪

歌に合わせて、手でいろいろな動きや形を表現して楽しむ

意欲



ポンポン
するのが
楽しいな。

絵具や紙皿など素材に触れて、自分で考えながら楽しんで作ろうとする

態度



パ～！！

踊るのが
楽しいな。

ほら、先生の
まねっこ、
パ～！

音楽に合わせて体を動かす

保育者の役割

- ・子どもたちができる簡単な動きを取り入れたリズム活動や手遊びをし、親しみやすい曲を選ぶ。
- ・様々な感触を味わえるように素材を用意し、表現活動を楽しめるようにする。
- ・イメージを膨らませることができるよう保育者が動きをわかりやすく示し、子どもたちのそれぞれの表現を認めていく。

2歳児

発達の特徴

- ・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能が伸び、手指の機能も発達していく。食事や衣類の着脱や排泄など、身の回りのことを自分でしようとする姿も見られる。また思い通りに行かないと泣いたりかんしゃくをおこしたりすることもあるなど、自己主張する姿が見られ、自我が芽生えてくるが、自分の行動がすべて受け入れられるわけではないことにも徐々にも気付いていく。
- ・自分のしたいことやしてほしいことなどを言葉で伝えるようになっていたり、遊びの中で言葉を使ったり、言葉を使って伝わる楽しさを味わっていく。

養護

保育の基盤としての「養護」	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適で健康的に生活できるようにする。 ・一人一人の子どもの生理的欲求や依存欲求を十分に満たし、園の生活のリズムのもとで快適に過ごせるようにする。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちや自己主張や欲求等を理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、安心して自分の気持ちを表し、受け止めてもらえる嬉しさを感じることができるようになる。 ・一人一人の成長を認め、自分でできたという自信につながるようにする。

生命の保持



気持ちいいね。

快適な生活リズムが確立できるような雰囲気づくりをする

生命の保持



手をきれいに洗いましょう。

石鹸の泡でばい菌をやっつけよう！

身体を清潔に保ち、健康的に生活をする

情緒の安定



ママに会いたいよ～。

ママがお迎えにくるまで、先生がいるから大丈夫だよ。

子どもの気持ちを受容し、信頼関係を深める

保育者の役割

- ・保育の中に休息を取り入れ、安心して園生活が送れるように保健的で安全な環境をつくる。
- ・一人一人の成長を認め、自分でしようとする意欲的な思いにつながるような言葉がけをする。
- ・一人一人の子どもの気持ちに寄り添い、安心感を持たせる。

2歳児 健康

健康	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育者との関係のもとで、排泄や簡単な衣服の着脱、食事などの身の回りのことを自分でできる喜びを感じる。 ・友達と一緒に食事や間食をとることを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育者との関係のもとで、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 ・安全で活動しやすい環境の中で、意欲的に自由に体を動かそうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な活動（食事、排泄、衣服の着脱など）を身に付ける。 ・喜んで体を動かしたり、手や指を使ったりして遊ぶようになる。

心情



片方ずつ足を入れてみると上手にできるよ。

足を入れて～！
うん、できそう！

保育者と一緒に自分のことは自分でやってみようとする

意欲



お外楽しかったね！
お部屋では上靴にはき替えようね。

ぎゅっと足を入れたら
はけるんだ

安心できる保育者との関係のもと、身の回りのことをしようとする

態度



給食、みんなで食べるとおいしいね。

お皿もきちんと持つよ。

保育者に見守られながら生活に必要な習慣を身に付けていく

保育者の役割

- ・やり方や仕方のコツを知らせ、自分でできるように声をかけ「できた」という喜びを共感する。
- ・できないところは言葉をかけながら援助し、自分でしようとする気持ちを大切にします。
- ・箸の使い方やトイレの使い方など、望ましい習慣を知らせていく。

2歳児

人間関係

人間関係	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育者との関係のもとで、外遊びやいろいろな一人遊びを十分に楽しむとともに、簡単な身の回りの活動を自分でする喜びを感じる。 ・様々な人が身の回りを知り、徐々に友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・友達への関心が芽生え、自ら気の合う友だちや保育者とかかわろうとする。 ・友達とのかかわりの中で、簡単な約束ごとや順番などを知り、守ろうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達とかかわって遊ぶことを通して、一緒に行動したり、同じ遊びを一緒に楽しんだりする。

心情

おかえり～。

ねえねえ
お散歩に行っ
て来たよ。



園内の様々な人たちとかかわる心地良さを感じる

意欲

何を頼
もうか
な？

美味しかったよ。
ありがとう。



友達への関心が芽生え、気の合う友達とかかわろうとする

態度

一緒に
見ようよ。

ねえ、この本見る？



仲の良い友達とイメージを共有することを楽しむ

保育者の役割

- ・戸外で子どもが伝える発見や驚きを丁寧に受け止め、次の活動への期待につなげる。
- ・友達とのかかわりの中で、場面に応じて言葉がけなどの適切な援助をする。
- ・簡単なストーリーのある絵本などを用意し、共通のイメージが持てるようにする。

2歳児 環境

環 境	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事物や親しみの持てる自然や動植物を見たり、触れたり、保育者から話を聞いたりして興味や関心を持つ。 ・身近な自然や環境などに自らかかわる中で、触ってみたり、試してみたりすることを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事物や親しみの持てる自然や動植物などの興味や関心が広がり、自らかかわろうとする。 ・身近な自然や環境などに自らかかわる中で、小さな発見や気づきをしながら、もっとやりたいという意欲を持ってかかわろうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事物などにかかわる中で、簡単な色・形・ものの性質などに関心を持ち、繰り返しかかわって楽しんで遊ぶ。 ・自分の思いやめあてを持って、身近な自然や身の回りの事物を取り入れながら喜んで十分に遊ぶ。

心情

みんな
で釣っ
てきた
ザリガ
ニ。

こわいな
～。
でも、
ちょっと
さわって
みようか
な。



大きいハサミ
かっこいいな～。

身近な自然や動植物に興味や関心を持ち、かかわろうとする

意欲

次、僕にも
かわってね。

乗った！
乗った！



身の回りの事物に興味や関心を持ち、意欲を持ってかかわる

態度

青、次
は…。
ピンク!!



みんなで
遊ぼう。

ほら、上手
にとべたよ。

色や形に気づき、何度も繰り返
し、その遊びを十分に楽しむ

保育者の役割

- ・自然や動植物について気づきを持たせたり、一緒に飼育や世話をしたりすることで、子どもたちの興味や関心が広がるようにする。
- ・遊びが広がるように工夫しているところを認め、遊びの楽しさを共感していく。
- ・身体を動かす楽しさを十分に味わえるようにし、色や形に気付かせる。

2歳児 言葉

言葉	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者を仲立ちとして、生活やいろいろな遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。 ・ 絵本などを読んでもらったり、自分で見たりすることを通して、イメージしながら絵本や物語を見たり聞いたりすることを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気持ちや、見たり、触れたり、感じたりしたことを言葉で伝えようとしたり、言葉のやりとりをしようとする。 ・ 保育者や友達と積極的に言葉のやりとりをしながら、イメージを広げて楽しんで遊ぼうとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のしたいこと、してほしいことなどを身振りや言葉で積極的に表現する。 ・ 生活やいろいろな遊びでのやりとりや、絵本などを通して、日常生活に必要な言葉や、身の回りの様々なものの名前などが分かるようになる。

心情



この絵は誰がかいたのかな？

僕の絵だよ！

意欲



〇〇です。


次は私の番。楽しみだな。

お名前は？

保育者を仲立ちとして、生活やいろいろな遊びの中で簡単な言葉のやりとりを楽しむ

言葉のやりとりを楽しみながらイメージを広げて遊ぼうとする

態度



ねえ、先生！ここにブロックを入れて欲しいの。

お洋服の中に入れるの？

保育者の役割

- ・ 生活や様々な遊びの中で言葉のやりとりを楽しめるように、仲立ちをしたり、わかりやすい言葉のやりとりのある絵本を保育の題材に取り入れたりする。
- ・ 子ども同士のかかわりが広がるように保育者が見守ったり、かかわったりする。
- ・ 子どもが伝えようとしていることをしっかり受け止め、言葉や身振りでやりとりする充実感を感じられるようにする。

自分のしたいこと、してほしいことなどを身振りや言葉で表現しようとする

2歳児 表現

表現	心情	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、水、砂、土、紙、粘土などのいろいろな素材の感触を楽しむ。 ・保育者と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。
	意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現しようとする。 ・好きな歌を歌ったり、様々な身体表現を楽しんだりしようとする。
	態度	<ul style="list-style-type: none"> ・歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・保育者や友達と遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませて遊ぶ。

心情



わあ～
長いな。

僕は型抜き
でハートを
つくったよ。

ほら、長く伸
ばしてへびが
できた！

いろいろな素材の物の感触を
十分味わいながら遊ぶ

意欲



歌に合わせて動いてみよう。

でんでんむしむし
しカタツムリ♪

遊びの中でのイメージを広げ、
自分なりに表現しようとする

態度



いい気持ちだな～。

私は体を洗
おうかな。

大きなお風呂
ができたね。

身近な物やいろいろな素材の
物を見立てて遊ぶ

保育者の役割

- ・保育者と一緒に子どもが素材の感触を十分に味わえるようにし、遊びの楽しさを共感していく。
- ・表現しようとする姿や意欲を受け止め、一人一人が伸び伸びと表現できるようにする。
- ・いろいろな素材の物や身近な物を組み合わせることで、子どもたちのイメージを広げ、見立て遊びへと発展させていく。